令和５年９月１日

上尾市議会議長　星野　良行　様

都市整備消防常任委員会
委員長　井上　　茂

都市整備消防常任委員会行政視察を行ったところ、その概要は下記のとおりでありますので、報告いたします。

記

１	日　　時	７月２７日（木）～７月２８日（金）
２	視 察 地	広島県福山市・広島市
３	視察内容	広島県福山市
		・千代田地区かわまちづくり
		広島県広島市
		・広島駅南口広場再整備
４	参加議員	井上　茂　　井上　智則　　戸口　佐一
		渡辺　綱一　　大室　尚
５	執 行 部	都市整備部長　須田　均
６	随　　行	議事調査課主任　杉﨑　達宏
		議会総務課主任　遠藤　和秀

●広島県福山市

１　調査項目　千代田地区かわまちづくり

２　調査期日　令和５年７月２７日（木）午後２～午後４時

３　市の概要　人口　４５８、７８５人（令和５年５月末現在）
　　　　　　　行政面積　５１７．７２㎢
　　　　　　　令和５年度一般会計当初予算額１、８４１．６億円

４　視察対応部局
　　　福山市 建設局 都市部 公園緑地課

５　調査の目的

上尾市かわまちづくり協議会条例が令和５年４月１日に施行され、令和５年５月１１日に第１回の協議会が開催された。今後、協議会における議論において、かわまちづくり計画を策定し、整備を進めていく予定である。合わせて、周辺整備についても検討し、堤防利活用や賑わいの創出を推進する。

福山市では、芦田川の河川空間について、水生動植物の保全・保護など、良好な河川環境の保全・創出に努めるとともに、河川敷については、レクリエーション空間としての活用を促進することとし、「あしだがわ利活用推進委員会」を設置、利活用について議論を行い、整備を行った。水際にはSUP(スタンドアップパドル)やボートなどが楽しめる親水護岸のほか、サイクリングやジョギングに最適な幅員の広い遊歩道も整備し、民間資本の活用を図り、活性化を図っている。

本市は、新しく設置された協議会や堤防整備連絡会議において地域の資源である荒川河川敷の堤防整備及び利活用、かわまちづくりに関する計画の策定、推進について協議を行うこととなる。各種設備や周辺整備についても、周辺活性化を促す更なる検証が求められるため、かわまちづくり計画に基づく整備や活性化策などの先進事例を視察することで、本市のかわまちづくり計画策定や荒川河川敷の利活用に生かすことを目的とする。

６　調査内容

(1) 芦田川千代田地区かわまちづくりの背景

福山駅から約２．５ｋｍに位置しており、福山市営競馬場跡地への総合体育館（エフピコアリーナふくやま）の整備を契機に、アリーナに隣接する芦田川との連続性を確保し、一体的な利活用を図ることで、賑わいや憩いの拠点形成する「千代田地区かわまちづくり計画」を策定。平成３０年３月に国の「かわまちづくり支援制度」の登録認定を受け、河川管理者である国の直轄事業による支援を受けながら広場整備に着手し、令和２年３月に供用を開始している。

(2) 芦田川かわまち広場の整備概要

広場全体面積が約２．１ｈａとなっており、芝生広場・スケートボードパーク・ＢＢＱテラス・遊歩道・サイクリングロード・親水護岸等が整備されている。河川管理用通路と遊歩道を並列で整備し、管理用通路も通行可能としたことにより、歩行者と自転車利用の双方が快適に利用できるようになっている。河川管理用通路としての建前は維持しつつ、サイクリングロードについても、自転車専用道としては位置づけしない、柔軟な運用を行っている。占有時は、有料施設として設定されている芝生広場等は、通常利用においては無料として開放している。現地に管理事務所を置かずに運用しているため、目が行き届かない面も考慮し、このような運用となった。

(3) ネーミングライツ制度の活用

広場全体のネーミングライツではなく、施設ごとのネーミングライツを導入している。導入時に想定していたことではないが、細かく分けたことにより、高額の場合参入できずにいたであろう企業が参加し、年額約２５０万円の収入を得ることができている。

(4) かわまちづくり支援制度の活用

通常、河川区域においては営業活動が規制されているが、令和４年２月に「都市地域再生等利用区域」に指定され、特例措置の適用により、営業活動を行う事業者による都市および地域の再生等に資する河川敷地の利用が可能となっている。

(5) 今後の課題

日陰施設の設置等の広場の利用環境改善が求められている。また、官民連携の更なる推進を行い、より質の高いサービスの提供を目指すとともに、持続可能な管理運営を行っていく必要がある。

７　主な質疑応答

問　駐車場の規模は。イベント時に十分の規模を確保しているか。

答　堤外の駐車場が約 200 台。アリーナが約 300 台。イベントが重なった際には、足りないため、堤外駐車場上流の広場を臨時駐車場として利用している。

問　堤外地に水道やトイレ整備等は行っているか。

答　当初より問題になっていたが、堤防上にトイレを設置している。

問　当初計画からの見直しはあったか。

答　計画が概略のみのため、進捗に合わせて詳細を詰めていく形で行った。

問　芦田川利活用推進委員会は解散しているのか。

答　解散せず、休止状態である。区域の変更等が持ち上がった際には、招集し議論する。

問　かわまちづくり計画に合わせて、周辺市道整備を行ったか。

答　堤防上の市道を堤内に曲げ、連絡橋を施工した。

※ 質疑終了後、芦田川かわまち広場の見学を行った。

●広島県広島市

1　調査項目　広島駅南口広場再整備

2　調査期日　令和５年７月２８日（金）午前10時～11時30分

3　市の概要　人口　１、１８１、７４１人(令和５年５月末現在)

行政面積　９０６．７㎢

令和５年度一般会計当初予算額６、６９５．９億円

4　視察対応部局

広島市 道路交通局 交通施設整備部 広島駅南口整備担当

5　調査の目的

上尾市都市計画マスタープランは２０２０年に改定され、「暮らしの場として選ばれるまち」をまちづくりのテーマとして掲げ、定住を促し人口減少の抑制を図るとともに、コンパクトで利便性の高いまちづくりに取り組むとし、同計画の基本構想の将来都市構造では上尾駅を中央拠点とした「コンパクト・プラス・ネットワーク」を掲げている。

広島市では、高齢化の急速な進展や人口減少に対応して持続的に都市の活力を維持向上させていくため、公共交通にアクセスしやすい場所に都市機能を集積させて、高齢者をはじめとする市民が過度に自家用車に頼ることなく生活できるよう、集約型都市構造への転換を図ることにしている。また、今後とも広域的な交通結節点としての機能を強化していくため、広島駅南口広場の再整備を行うこととしている。

本市は、首都圏中央連絡自動車道や国道１７号上尾バイパス線（上尾道路）の開通により、大型商業施設や物流倉庫がオープンするとともに、高速埼玉中央道路（新大宮上尾道路）の延伸構想などによる新たな発展も期待されるところである。本市の人口についてみると、平成２２年から平成２７年の上尾駅周辺の中心市街地で減少する一方、その外縁部では増加するなど、中心市街地の衰退や空洞化が懸念されるところであり、交通結節点の再整備

などの先進事例を視察することで、本市のまちづくりに生かすことを目的とする。

6　調査内容

(1) 概要

広島市では、高齢化の急速な進展や人口減少に対応して持続的に都市の活力を維持向上させていくため、公共交通にアクセスしやすい場所に都市機能を集積させて、高齢者をはじめとする市民が過度に自家用車に頼ることなく生活できるよう、集約型都市構造への転換を図ることにしている。

陸の玄関である広島駅は、今後とも広域的な交通結節点としての機能を強化していく必要があるため、広島駅南口広場の再整備を行うとともに、広島駅からの路面電車のルートを新設することなどにより、陸の玄関にふさわしいまちづくりを進めていく。

(2) 計画内容

ＪＲ西日本が実施している駅ビルの建替えと連携し、路面電車を新駅ビルの２階レベルへ高架で進入させることで生まれる空間や新駅ビル１階などを活用して、広場を約１.４倍に拡張することにより、駅周辺に点在するバスの乗降場を集約するなどの再整備を行い、公共交通機関相互の乗換利便性の向上を図る。

併せて、広場や新駅ビルを中心に各方面へのペデストリアンデッキを設置し、駅自由通路とつながる２階レベルの歩行者ネットワークを構築することで賑わいの創出などを図る。

また、路面電車について、駅前大橋ルートを新設するとともに、既存路線を活用して市内中心部を環状で結ぶ循環ルートを整備し、沿線地域の利便性の確保や回遊性の向上等を図る。

(3) 広場再整備概要

確保されたスペースを用い、タクシー・マイカーとバス乗降場を１５から２２へ増やし､駅から約２００ｍ離れた降車場を利用していた便の乗り入れを可能とする。また、高架化し、駅ビル２階に乗り入れる路面電車については､駅周辺で頻発する路面電車渋滞を回避することも可能となる｡タクシーを含めた各種公共交通に良い影響をもたらすよう計画している。

(4) ペデストリアンデッキの整備

ペデストリアンデッキの整備に当たっては､通路幅として必要な４ｍに植栽付きベンチ等を設置する空間３ｍを合わせて、７ｍの幅員を計画している｡解放感を持たせ、賑わいを生み出す空間としての利用も検討している。

７　主な質疑応答

問　１階ﾛｰﾀﾘｰや２階ﾍﾟﾃﾞｽﾄﾘｱﾝﾃﾞｯｷなどの管理区分はどうなるか。

答　駅ビルの一部となる部分を除き広島市の管理となる。

問　ﾊﾞｽｴﾘｱにおいて、企業送迎バスなどの発着も検討しているか。

答　南口においては、路線バス以外はない。

問　自転車利用者の対応(駐輪場､自転車レーン等)は行っているか。

答　再整備の中では、特に行っていない。

問　広場再整備により､マイカー駐車台数が大きく減少しているが､理由はあるか。

答　駅ビルに約４００台の駐車場が確保されるため､送迎利用のみを見越し、台数・スペースを絞った。

問　駅周辺再開発と一体的な構想だったのか。

答　それぞれが単独事業として行われ､地区の総仕上げとして今回の再整備を行っている。

※ 質疑終了後、進捗中の工事現場見学を行った。

（福山市）

芦田川かわまち広場　スケートボードパーク前

視察状況

河川管理用通路、サイクリングロード、芝生広場

芝生広場、スケートボードパーク

堤防上、トイレ・倉庫

親水護岸

（広島市）

広島駅南口広場再整備　見学ルーム　　　　　　　　　　　　視察状況

見学ルーム屋上より工事現場の視察

工事中写真（路面電車高架化）